

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	英語表現Ⅲ
科目基礎情報					
科目番号	0071		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子情報工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『TOEIC公式ボキャブラリーブック』、『TOEIC L&Rテスト書き込みドリル [リスニング編]』 (桐原書店) ほか教員が用意した教材 英語長文演習アブローズ4 (美誠社) 夏季休業中課題				
担当教員	山村 啓人				
到達目標					
3年生から取り組むTOEIC TESTは、高校3年生には簡単な試験ではない。対応できるようにするためには、大学入試レベルの英語知識に加え、語彙力、リスニング力、高い読解力が必要となる。本講義は、その入り口であり、まず読解に必要な文法・語法知識を整理・拡充し、その後、特に手薄なリスニングの指導をディクテーションやリードアンドルックアップを用いながら行う。 1. これまで学習してきた英文法や語彙の知識を整理、拡充しつつ大学入試レベルにまで高め、TOEIC L&Rテストに対応できるようにする。 2. リスニング教材を用いて、英語の音の認識、意味の理解、そして保持能力 (retention) を総合的に高め、TOEIC L&Rテストに対応できるようにする。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
文法・語彙	TOEIC L&Rテストで使われる英文法や語彙を理解することができ、問題に対応することができる。	TOEIC L&Rテストで使われる英文法や語彙を概ね理解することができ、問題に対応することができる。	TOEIC L&Rテストで使われる英文法や語彙をあまり理解しておらず、問題に対応できない。		
リスニング	TOEIC L&Rテストのリスニングセクションを聞いて、細部まで聞き取り理解することができる。	TOEIC L&Rテストのリスニングセクションを聞いて、ほぼ理解することができる。	TOEIC L&Rテストのリスニングセクションを聞いて、ほとんど理解することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー DP1 MCCコア科目 MCCコア科目 ディプロマポリシー 3					
教育方法等					
概要	<ul style="list-style-type: none"> これまで学習した英文法と語彙の知識を整理・拡充し、TOEIC L&Rテストに対応できる英語リーディング力をつけることを目的とする。 リスニング教材を用い、英語の音が認識でき、意味が分かり、内容ができるだけ保持できるようになるための総合的なトレーニングをする。 11月に全員で受けるTOEIC IPテストでは、350～400点を旨とする。また、本講義は4年次に開講される英語演習Ⅰ、Ⅱの準備という位置づけである。英語演習ではさらに発展的なTOEICの演習を行うので、選択すると効果的である。 				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> 授業は講義と演習を織り交ぜ、教員と学生間のやりとりを中心とした双方向型のものにする。週に数時間の授業だけでは、英語力を根本的に変容させることは不可能に近い。授業外で学生一人一人が主体的に勉強し、英語力を向上させる努力をしてほしい。 授業のはじめに『TOEIC公式ボキャブラリーブック』から単語テストを行う予定である。 事前に行う準備学習：前回の講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと (授業外学習・事前) 事前に授業内容を予習したり指示された課題に取り組んでおく。 (授業外学習・事後) 理解した内容の復習や音読を十分に行う。 				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> 授業には必ず英和辞典と専用のノートを持参すること。また辞書機能を含め、授業中にスマートフォンを操作することは認めない。 定期試験を80%、単語テストを20%として評価する。後期中間には、夏季休業中の課題も評価に含む予定である。 評価が60点に満たないものは、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者は、その評価を60点とする。評価方法および評価基準は本試験と同じとする。 シラバスは計画であるため、授業の進捗や学生の理解度等を見極めながら、柔軟に授業運営をする。 				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション はじめに	授業の基本的な考え方、進め方のガイダンス	
		2週	品詞の基礎	高校で扱う英文法の基礎を、読解という観点から知識を整理、拡大し、TOEICの英文理解に役立てることができる	
		3週	品詞とその働き	高校で扱う英文法の基礎を、読解という観点から知識を整理、拡大し、TOEICの英文理解に役立てることができる	
		4週	名詞のまとめ	高校で扱う英文法の基礎を、読解という観点から知識を整理、拡大し、TOEICの英文理解に役立てることができる	
		5週	いろいろな句	高校で扱う英文法の基礎を、読解という観点から知識を整理、拡大し、TOEICの英文理解に役立てることができる	
		6週	いろいろな節	高校で扱う英文法の基礎を、読解という観点から知識を整理、拡大し、TOEICの英文理解に役立てることができる	
		7週	動詞と文型	高校で扱う英文法の基礎を、読解という観点から知識を整理、拡大し、TOEICの英文理解に役立てることができる	
		8週	中間試験	高校で扱う英文法の基礎を、読解という観点から知識を整理、拡大し、TOEICの英文理解に役立てることができる	

後期	2ndQ	9週	試験返却、フィードバック	学習の定着度、進捗状況を計る
		10週	第2文型と第5文型の発展	高校で扱う英文法の基礎を、読解という観点から知識を整理、拡大し、TOEICの英文理解に役立てることができる
		11週	これまでの整理と準動詞	高校で扱う英文法の基礎を、読解という観点から知識を整理、拡大し、TOEICの英文理解に役立てることができる
		12週	追加問題演習	高校で扱う英文法の基礎を、読解という観点から知識を整理、拡大し、TOEICの英文理解に役立てることができる
		13週	追加問題演習	高校で扱う英文法の基礎を、読解という観点から知識を整理、拡大し、TOEICの英文理解に役立てることができる
		14週	追加問題演習	高校で扱う英文法の基礎を、読解という観点から知識を整理、拡大し、TOEICの英文理解に役立てることができる
		15週	期末試験	学習の定着度、進捗状況を計る
	16週	返却、フィードバック		
	3rdQ	1週	TOEIC書き込みドリルリスニング DAY1 動作表現	TOEICのリスニングテストを正確に聞き取ることができ、会話の内容が把握できる
		2週	TOEIC書き込みドリルリスニング DAY2 人や物を指す表現	TOEICのリスニングテストを正確に聞き取ることができ、会話の内容が把握できる
		3週	TOEIC書き込みドリルリスニング DAY3 位置・状態を表す表現	TOEICのリスニングテストを正確に聞き取ることができ、会話の内容が把握できる
		4週	TOEIC書き込みドリルリスニング DAY4 疑問詞を使った疑問文	TOEICのリスニングテストを正確に聞き取ることができ、会話の内容が把握できる
		5週	TOEIC書き込みドリルリスニング DAY5 提案・依頼・申し出の表現	TOEICのリスニングテストを正確に聞き取ることができ、会話の内容が把握できる
		6週	TOEIC書き込みドリルリスニング DAY6 Yes/No疑問文	TOEICのリスニングテストを正確に聞き取ることができ、会話の内容が把握できる
		7週	TOEIC書き込みドリルリスニング DAY7 選択疑問文とステートメント	TOEICのリスニングテストを正確に聞き取ることができ、会話の内容が把握できる
		8週	中間試験	学習の定着度、進捗状況を計る
4thQ		9週	TOEIC書き込みドリルリスニング DAY8 大意把握	学習の定着度、進捗状況を計る
		10週	TOEIC書き込みドリルリスニング DAY9 店での会話	TOEICのリスニングテストを正確に聞き取ることができ、会話の内容が把握できる
		11週	TOEIC書き込みドリルリスニング DAY10 電話での会話	TOEICのリスニングテストを正確に聞き取ることができ、会話の内容が把握できる
		12週	TOEIC書き込みドリルリスニング DAY11 オフィスでの会話①（日常業務）	TOEICのリスニングテストを正確に聞き取ることができ、会話の内容が把握できる
		13週	TOEIC書き込みドリルリスニング DAY12 オフィスでの会話②（3人の会話・意図を問うもの）	TOEICのリスニングテストを正確に聞き取ることができ、会話の内容が把握できる
		14週	TOEIC書き込みドリルリスニング DAY13 図表に関する会話	TOEICのリスニングテストを正確に聞き取ることができ、会話の内容が把握できる
		15週	期末試験	学習の定着度、進捗状況を計る
	16週	返却、フィードバック		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14

			<p>中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。</p>	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
			<p>中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。</p>	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14
		英語運用能力の基礎固め	<p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。</p>	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
			<p>平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。</p>	3	前8,前15,後8,後15
			<p>母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。</p>	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
			<p>実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。</p>	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
		英語運用能力向上のための学習	<p>自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。</p>	3	前8,前15,後8,後15
			<p>英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。</p>	3	前10,前11,前12,前13,前14
			<p>母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。</p>	3	前10,前11,前12,前13,前14
			<p>関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。</p>	3	前10,前11,前12,前13,前14,前15
			<p>関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。</p>	3	前8,前15,後8,後15
			<p>英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。</p>	3	前12,前13,前14,前15,後8,後15

			<p>実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。</p>	3	<p>前10,前11,前12,前13,前14,後9,後10,後11,後12,後13,後14</p>
--	--	--	--	---	---

評価割合				
	定期試験	単語テスト	課題提出	合計
総合評価割合	70	20	10	100
基礎的能力	70	20	10	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0